

金沢団地におけるグリーンスローモビリティ等試験運行

令和3年2月



日立市 都市建設部 都市政策課

いいね! がいっぱい 日立市



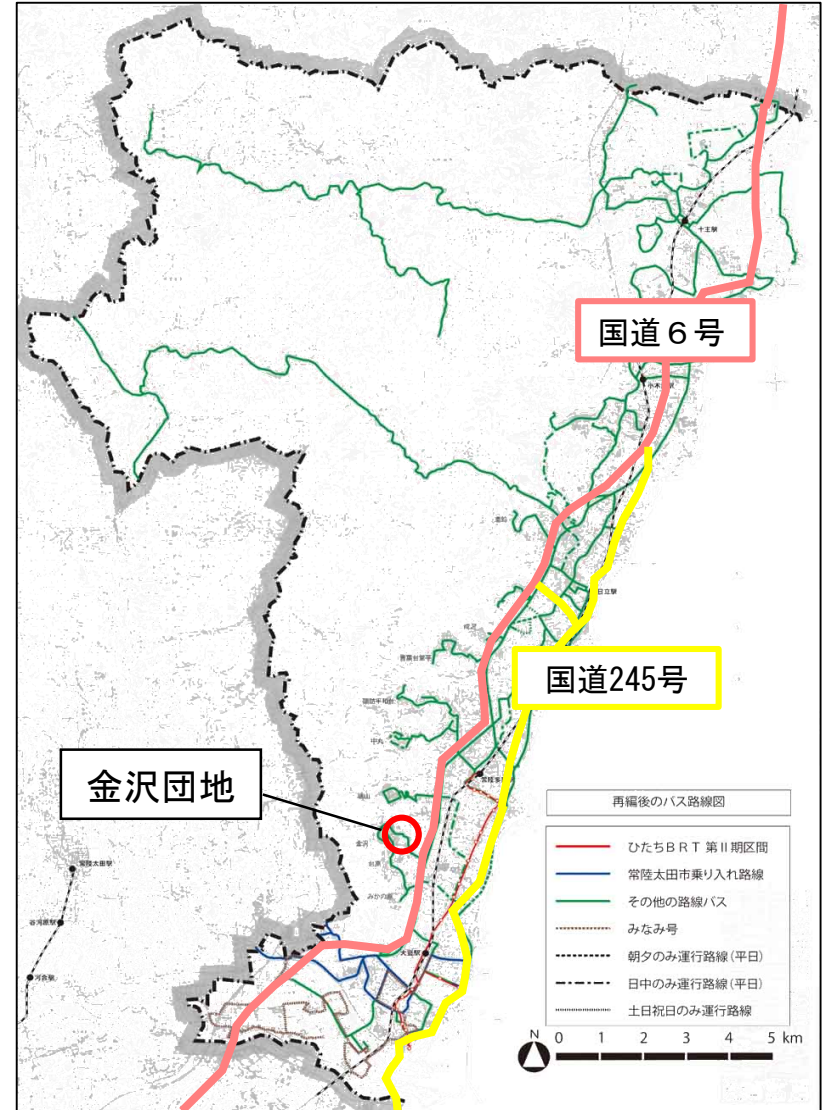
実証地域の概要・課題

日立市

- ・茨城県北部に位置し、人口は 176,773人 (R2.4)
- ・人口増加率は $\Delta 5.82\%$ で人口減少、少子化が進行している。高齢化率は、**31.6%**
- ・南北の移動基軸として海側に国道245号、中央に国道6号が縦断、時間により渋滞が多発。
- ・山側丘陵地には、13箇所の大規模住宅団地が立地し、特に高齢化が進行している。

金沢団地

- ・山側丘陵地に立地した戸建て住宅団地
- ・居住者2,239人 (H30.6)のうち老年人口1,131人
⇒ 高齢化率は、**50.5%**



実証地域の概要・課題

金沢団地

病院やスーパーがある通りには、路線バスが通っていない

家からバス通り停留所まで遠い



団地内で傾斜がきついところもある

6号国道周辺の団地外からのバス路線はあまり利用されていない。



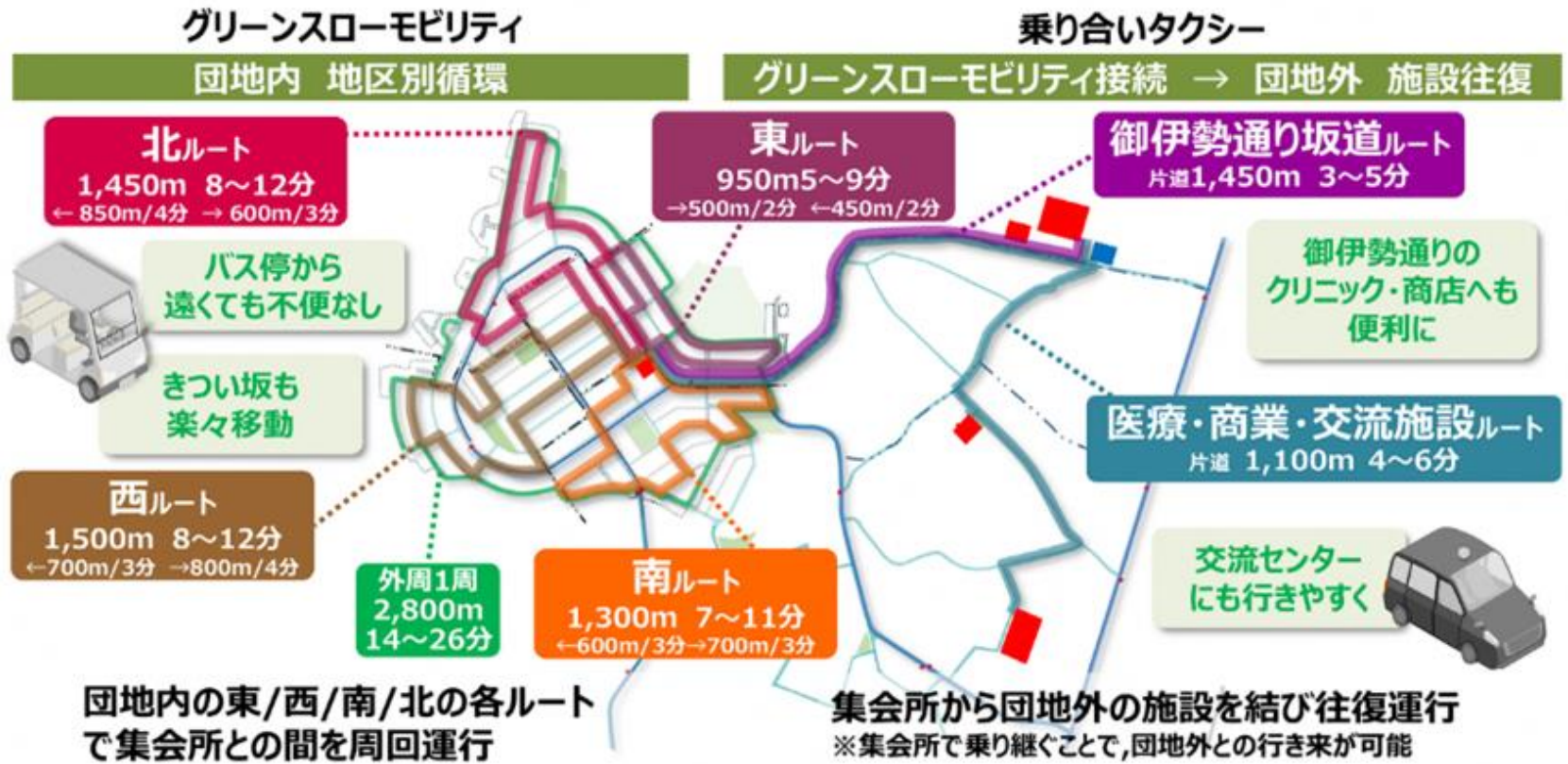
団地内中心部に集会所や郵便局など生活利便拠点がある

交流センターなど、公共交通で行けないところがある

試験運行概要 ①運行内容

	グリスロ	乗合タクシー
実施期間	令和2年11月2日（月）～29日（日）※土日祝日含む	
導入車両	4人乗りカート 2台	5人乗りセダン型 1台
運転手	茨城交通(株) 路線バス運転手	電鉄タクシー(株) タクシー運転手
運行形態	定時定路線型（予約なしで乗車）	
運行時間帯	8:30～15:30	8:00～16:00
利用方法	利用券（通し番号入り）を配布し、乗車時に運転手へ提示 乗車の都度、スタンプを押印	
利用料金	無料	1回100円・期間内乗り放題1,000円
車両保管場所	日立市立金沢幼稚園 ※屋根付き駐車スペースに車体カバーを かけて保管	電鉄タクシー(株)営業所

試験運行概要 ①運行内容



グリスロ/乗り合いタクシー利用時は本証を持参して下さい

グリーンスローモビリティ (無料) の利用について

- 乗車時は本証を提示し、番号を運転手にお伝え下さい。
- 降車時は本証を運転手に渡し、スタンプを貰って下さい。

乗り合いタクシー (有料) の利用について

- 乗車時は本証を提示し、番号を運転手にお伝え下さい。
- 料金は1回1,000円または期間中乗り放題1,000円です。料金は降車時に運転手にお支払い下さい。
- (乗り放題の方は、利用券に領収済シールをお貼ります)
- 降車時は本証を運転手に渡し、スタンプを貰って下さい。

金沢団地 2020.11.02 ~11.29

グリーンスローモビリティ 乗り合いタクシー 実証実験

利用券 12345

金沢団地グリーンスローモビリティ活用委員会 発行



グリーンスローモビリティ



- 1回乗車ごとにスタンプを1つ押印します
- 10ポイント毎に特典と交換します

	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

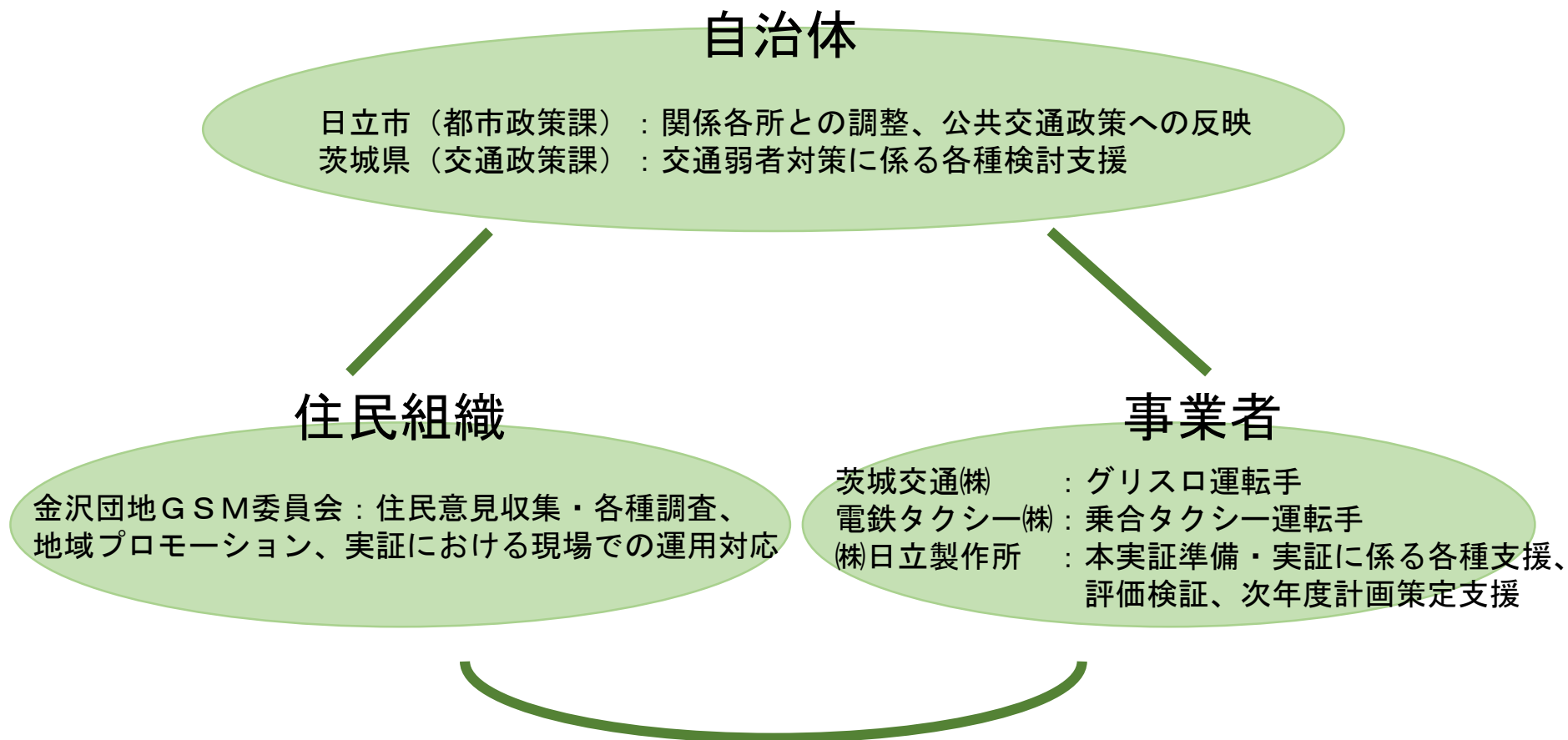
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

乗り合いタクシー



- 1回乗車ごとにスタンプを1つ押印します
- 10ポイント毎に特典と交換します

試験運行概要 ②実施体制



試験運行概要 ③実施に当たってのポイント

サービス内容の設定

- ・ 団地内ルート：モニターユーザー居住地、道路状況を踏まえ設定
- ・ 団地外ルート：主な目的地を踏まえ設定、代替手段として乗合タクシーで運行

運営体制の構築

- ・ 住民組織との協議を踏まえて検討推進
- ・ 実証に当たり、金沢団地グリーンスローモビリティ活用委員会を発足、実証検討・具体化を推進

関係機関調整

- ・ 市内部、警察、公共交通会議等での協議を実施
- ・ この中で、グリスロ団地外走行は安全性検証の必要ありとの指摘があり、代替手段として乗合タクシーを運行

利用者確保

- ・ 住民組織による広報活動が利用者確保に大きく寄与
※主な取組：戸別訪問説明、チラシ回覧、ポスター掲示、グリスロ紹介動画上映会、住民向け説明会、モニターユーザ・運転協力者募集、イベント実施（体験試乗・運転体験）、ルートマップ時刻表と利用券の事前全戸配布、利用特典、GSM委員による呼び込み等

試験運行概要 ③実施に当たってのポイント

◎住民向け説明及び意見交換会を9/8～10の3日間で計8回実施（計約130人参加）



◎新型コロナウイルス感染症予防のため、検温、手指消毒、マスク着用などを実施



◎住民向けグリスロ運転講習会を実施（住民16人が参加）



試験運行概要 ③実施に当たってのポイント

◎生活利便拠点に位置する生協店内にグリスロ紹介コーナーを設置



◎分かりやすい停留所設置



◎スタンプカード満了特典の実施

グリスロ/乗り合いタクシー利用時は本証を持参して下さい

グリーンスローモビリティ（無料）の利用について

- 乗車時は本証を提示し、番号を運転手にお伝え下さい。
- 降車時は本証を運転手に渡し、スタンプを買って下さい。

乗り合いタクシー（有料）の利用について

- 乗車時は本証を提示し、番号を運転手にお伝え下さい。
- 料金は1回100円または期前中乗り放題1,000円です。料金は降車時に運転手にお支払い下さい。（乗り放題の方は、利用券に納税済シールをお貼ります）
- 降車時は本証を運転手に渡し、スタンプを買って下さい。

金沢団地 **2020.11.02 ~11.29**

グリーンスローモビリティ
乗り合いタクシー
実証実験

利用券 12345

金沢団地グリーンスローモビリティ活用委員会 発行

乗り合い
タクシー
乗り放題
納税済

グリーンスローモビリティ

	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

- 1回乗車ごとにスタンプを1つ押印します
- 10ポイント毎に特典と交換します

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

乗り合いタクシー

- 1回乗車ごとにスタンプを1つ押印します
- 10ポイント毎に特典と交換します

試験運行結果 ①結果概要

	グリスロ	乗合タクシー
利用者数	延べ1,250人 ※うち、お試し乗車580人 ※その他、体験試乗イベント77人	延べ440人 ※うち、視察乗車1人
日別、便別平均	44.6人／日、1.5人／便	15.7人／日、1.74人／便
ルート別	北367人、東242人、南278人、西363人	
利用券発行枚数	延べ379枚 ※うち、グリスロ1回のみの利用が195枚（51.4%）	

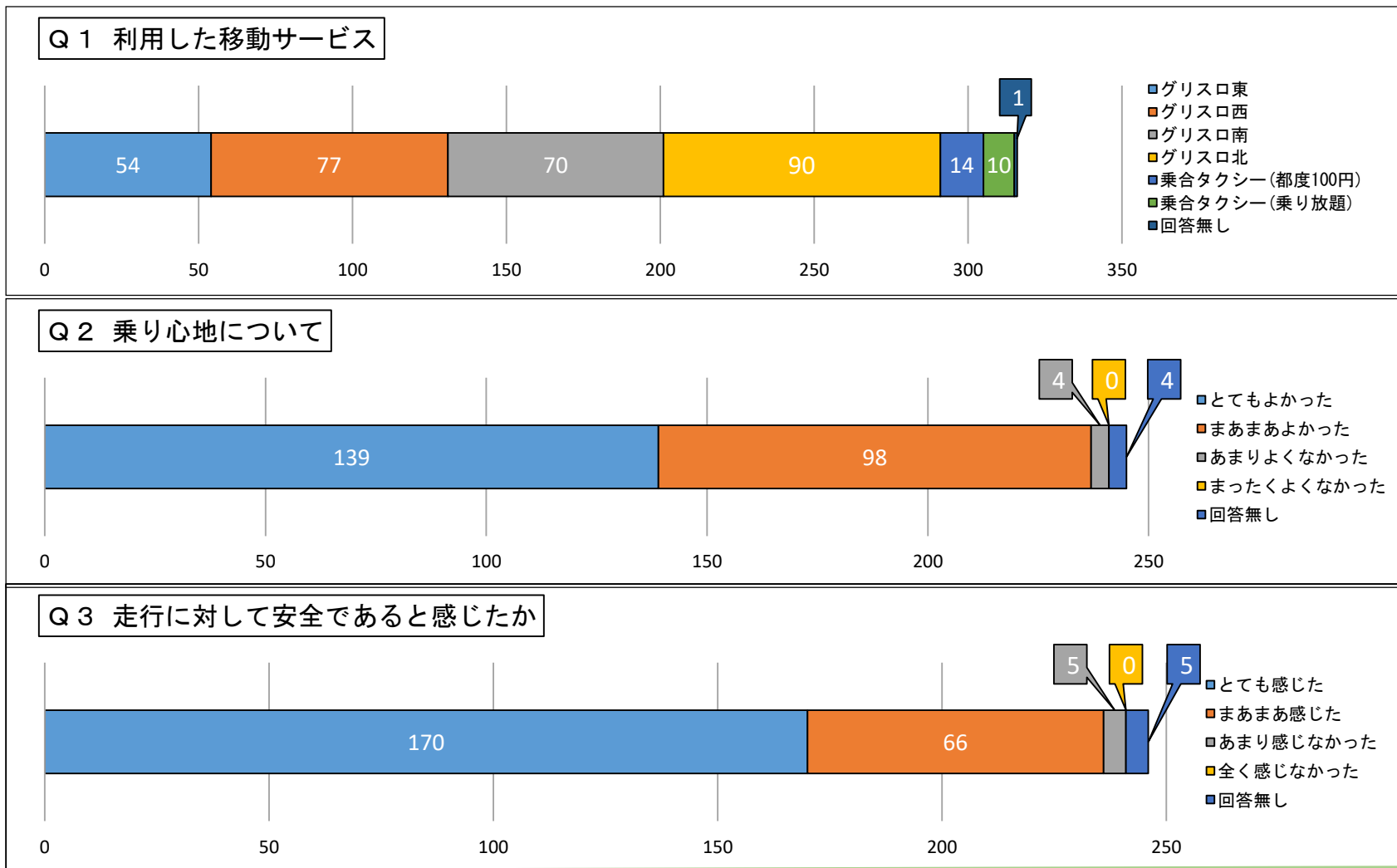
※以下、グリスロの利用実態について記載

- ・天候（最高気温、最低気温、降水量、日照時間）による偏りはあまり見られない。
- ・曜日毎の偏りはあまり見られない。
- ・ルート別では、北・西ルートの利用が多く、東・南ルートの利用が少ない傾向にある。（北・西エリアから、主な目的地の生活利便拠点まで移動距離が長いことが要因と考えられる。）
- ・8時台、9時台は利用者が少なく、11時・12時台と14時・15時台は多い傾向が見られた。
- ・発着場所の生活利便拠点から200m以上離れた停留所からの乗降が多い傾向が見られた。
- ・延べ1,250人の利用のうち、周回利用は580人（46.4%）であった。
- ・利用券の発行状況及び利用状況から、半数近くは体験目的の周回利用であったと考えられる。

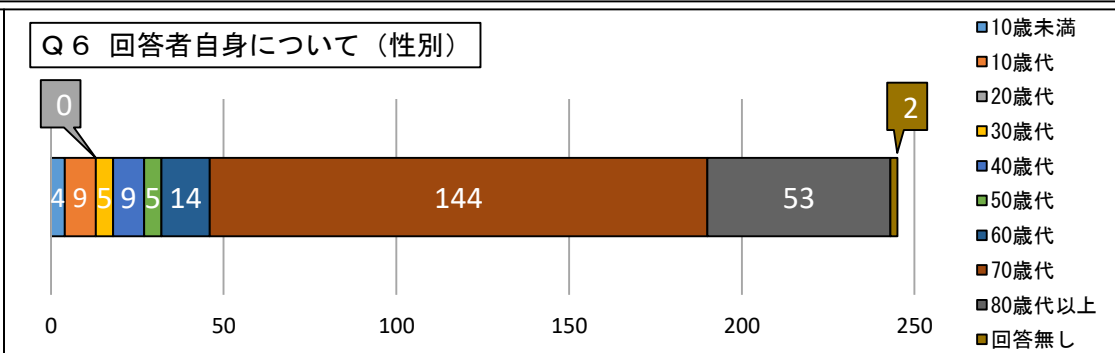
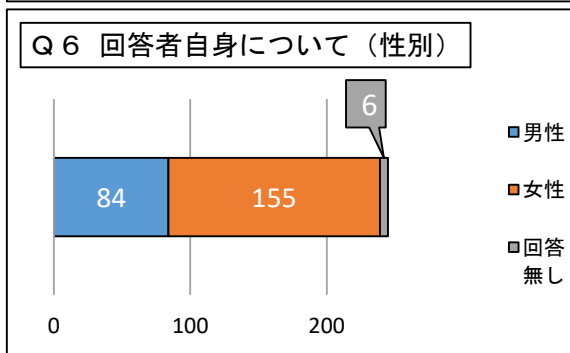
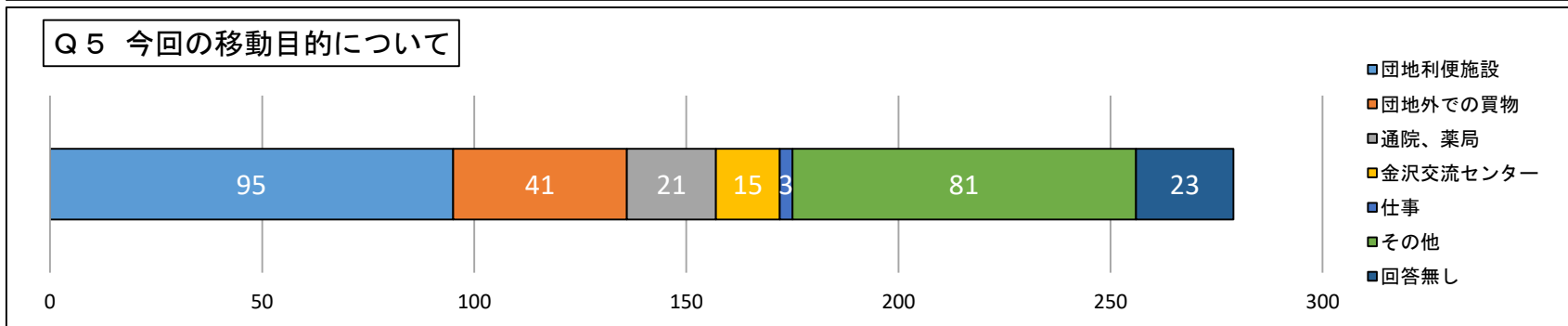
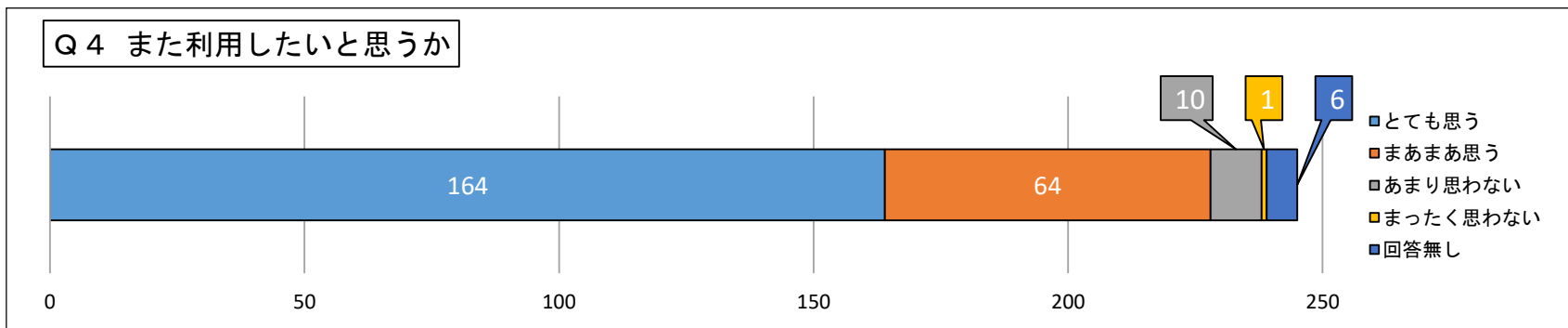
試験運行結果 ②乗車後アンケート調査結果

※グリスロ、乗合タクシー乗車後に、任意で乗客へのアンケート調査を実施

※回答者数：245人（複数回答含む、316回答）



試験運行結果 ②乗車後アンケート調査結果



試験運行結果 ③利用者等の意見・感想

利用者の声

- ・低速で、歩いているときと目線が変わらないので安心。
- ・免許返納後の生活が不安だったが気楽に乗れる。
- ・風が寒かった。暑いときや寒いときは辛い。
- ・すれ違い、交差点が少し怖かった。段差の振動が気になった。
- ・歩いている際に無音のモビリティが近づいてくると不安。

運営者の声

- ・運行にゆとりのある車両選定の必要性：定員6人乗り以上、より大きなバッテリー容量
- ・安全対策：車両側のドア無構造への対策、路側T字路等のカーブミラー設置
- ・乗降記録：運行日誌への手書き記載に時間がかかる
- ・感染症対策：検温・消毒の対応に時間がかかる



高齢化に伴う
移動手段への不安



グリスロを体験

住民同士の
コミュニケーション機会

住民自らが新しい移動手段
の検討に向き合う機会



試験運行結果 ④各種イベント等の実施



11/2 出発式



11/14 グリスロ試乗イベント
地域の楽器演奏家たちによる演奏会
を同時開催



11/15 グリスロ試乗イベント
市公用車が先導し、グリスロが団地
内を周遊



11/17、18 小学生課外学習
団地内に位置する市立金沢小学校
児童に向けて、GSM委員からグリス
ロについて説明



11/22 団地外走行
安全性検証のため、活用委員会委
員が乗車したグリスロが団地外を
走行



11/29 さよなら会
運行最終日に活用委員会委員や運
転手などが集まり、さよなら会を
実施

事業化に向けた課題

事業スキーム構築

事業者との施策支援等の協議まで検討するための組織体制が必要

- ・ 地域公共交通を担う交通事業者の参画
- ・ 地域住民の交流
- ・ 商業利用の促進 等

理解・周知の促進

- ・ 関係者への説明の際の理解醸成を促すものとして、ガイドライン資料があると役立つ。
- ・ 一般市民目線で分かりやすいリーフレット等の概要資料があると、今後地域の理解醸成・浸透に役立つ。

規則・ルール

- ・ 団地内等の歩道が設定されていない地区内道路においては、地区等管轄警察、市町村単位で施行可能な低速車両優先の規制緩和施策などが有効

インフラ整備

- ・ 地区内判断での低速看板掲示や路面印字を可能とする規制緩和や、低速車両優先標識、路面印字等の制度の策定
- ・ 短期的には誘導線敷設等のインフラ整備、中長期的には限定地区での車両側制御での自動運転化、地区規制緩和等の実証適用からの導入制度、サービスインフラ整備の助成制度創設を期待（国の助成事業として）
- ・ 車両への補助に加え、運行支援に係るITシステム実証等への助成制度創設を期待（国の助成事業として）

次年度計画の方向性

運行性能 の把握

- ・ 市域の他の公共交通ネットワーク体系との整合や位置付けの整理
(路線バス、一般タクシー等との役割分担)
- ・ 季節、気温、荒天時等での運行対応

目的移動需要 の把握

- ・ 地域住民の移動ニーズ(目的移動需要)を満たす運行体系
- ・ 有償による運送と適正な運賃

運営推進 体制の構築

- ・ 運営推進体制のあり方
(交通事業者や目的地となる商業施設事業者等の参画など)